

いきなり刺激的なタイトルを付けましたが、これは取材の中で稲田氏が自分の仕事を説明する際に語った言葉です。ここでいう「うそ」とは、まだ実現していないことやこれからしたいこと、あるべき姿を指しています。例えば、設定して間もない会社のビジョンにも当てはまるものではないでしょうか。現状の様々な課題解決に取り組み、掲げたビジョンやあるべき姿を「誠」として実現させること姿を表しています。

現在自治体や企業の課題解決に取り組んでいます。自治体向けには移住促進や関係人口創出、起業家精神講座運営等に取り組んでいます。企業向けにはストレッチングセッション認定コーチとして、社員の強みを客観的に見つけ最適化する組織づくりの支援等を行っています。

SHIRATAMA WORK.

一般社団法人シラタマワーク
住所/ 児湯郡新富町富田東2丁目1-1
TEL/ 090-3417-1152
事業内容/ 人材育成(企業研修)

稲田氏は宮崎大学で助教としても仕事をしており、午前中の取材後も大学に戻り、15時からは青全交の記念講演について米津氏とオンライン打ち合わせとのことでした。仕事内容も今回の取材を通して初めて知ることが多く、充実した時間を過ごすことができました。

取材 (有)日高設備工業 日高 憲一郎

今月のスポットライト



『うそ』を真にする

一般社団法人シラタマワーク
代表理事
稲田 祐太郎さん

ひむか支部

入会のきっかけを教えてください。

同友会を知るきっかけは、第30回みやざき中小企業経営フォーラム(2022年)で、分科会のファシリテーターを担当したことです。その分科会は産学連携をテーマにした分科会で、つくり込み担当の松浦千博氏(株)松浦牧場 取締役・ひむか支部)から依頼されました。

9月19-20日に開催される青全交の副実行委員長を担われていますが、具体的にどのようなことを行っているかお聞かせください。

副実行委員長の一人として全体会を担当しています。思った以上に大仕事というのが素直な感想です。利害関係を越えているような人を巻き込むのは大変ですが、そこが学びになります。記念講演の報告者は米津健一氏(日本情報クリエイティブ)代表取締役会長・きりしま支部)にお願いしています。過去に何度か報告の機会を持たれていますが、今回はこれまでに話されてこなかった内容も聴ける場になります。ぜひとも期待してください。

DO YOU 活動ズームアップ

〔宮崎北支部〕
7月見学会



7月10日、宮崎北支部の例会として、青全交第20分科会プレ報告会を開催。第20分科会報告者島原社長の案内で、(株)MFE HIMUKAとひむか野菜光房見学をしました。工場内の徹底された5S、レタス水耕栽培の取り組み等、イノベーションと次世代の農業経営について学ぶ例会でした。

〔宮崎南支部〕
同友会を知る会&暑気払い

7月19日に開催した「同友会を知る会」は、ゲスト1名を含む12名で開催。(株)i-Rootsの山根氏が同友会の説明と自身のこれまでの関わりと経験を語りました。グループ討論では自然とゲストや新会員に焦点が当たり、経営の課題や同友会での学び方などを交流しました。ほぼ全員が暑気払いにも参加するにも関わらず、暑気払い会場へと移動しないほど余韻を楽しまれていました。二次会でも盛り上がり、ゲストの方の入会宣言もありました。



新着まだまだ、たくさん活動しています!
活動内容は同友会Facebookでも配信中!!



第52回青年経営者全国交流会in宮崎

全国から「楽しみにしているよ!」の声と共に参加申し込みが続々と。登録1000名を突破 — 宮崎同友会全員でお迎えしよう!!

第52回青年経営者全国交流会in宮崎の開催は9月19-20日。7月1日に全国からの参加申し込み受付が始まり、7月末で1020名の参加登録となりました。実行委員会も7月で15回を数えました。各分科会の室長・副室長は、現地に報告者を訪問し交流を深めています。7月と8月には、各支部例会等でプレ報告会が行われ、分科会内容づくりも追い込みに入っています。Facebookの投稿から永峰実行委員長と前島担当理事のつぶやきをご紹介します。

6月28日、中同協青年部連絡会と石川同友会の例会へ参加するために金沢へ行ってきました。(中略) 各県の部会長の皆さんから「動員目標必ず達成します」とか「目標以上の人数で宮崎に行きます」等、前向きで頼もしい言葉をたくさんいただきました。しっかり目標を達成した上で、最高の青全交を創り上げます。

なんのための地方開催なのか? 地方開催だからこそ得られる学び交流をここ宮崎で感じていただきたいです。青全交in宮崎へのご参加をお待ちしております。
(実行委員長 永峰 智浩)

7月4-5日の中同協定時総会in宮城。第1分科会は総会テーマのド真ん中の内容。自県自社、何より自分にしっかり落とし込んでいきたい内容で、何かやること過ぎて逆に楽しくなってきた。内容の土台にある「労使見解」、「自主・民主・連帯の精神」については宮崎青全交第19分科会(特別分科会)に引き継いで考えていきます!

今回は特に次の全国大会である宮崎青全交を応援してくれる人がたくさん、ほんとに沢山いて嬉しすぎる🥳って件。(中略) こんなにもたくさんの応援を受けて開催する全国大会が宮崎でできるということで、9月に向けて必死に準備していかねば!とことで9月19-20日は宮崎に集合です!
学びと交流の多い2日間になるはずです!メイン会場はシーガイア、ゴルフしたい方もサーフィンしたい方も地鶏で飲みたい方も皆さまご参加お待ちしております!
(担当理事 前島 崇志)

宮崎青全交用のホームページやSNSをまとめたリンクはこちら!



県外の方やゲストさんへもお知らせ下さい!



探究活動

宮崎同友会では、県内の高校とのつながりも強くなってきています。探究学習の一環で、宮崎北高校・宮崎第一高校の生徒さんが企業訪問を行い、企業のSDGsを考えてもらい、中小企業の役割を知ってもらっています。また、宮崎海洋高校ではキャリア教育の一環で共同求人委員会が出前講座を行い、「働く」ということを講義とグループ交流を通して考えてもらっています。3校の取り組みは、2025年度以降も継続する予定です。学生に自社の存在意義を知ってもらう機会です。若者に地域の中小企業を知ってもらって地域に若者を残す取り組みにもつながってきます。ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

「宮崎北高校」での取り組み

2022年度より、宮崎北高校1年生の『地元企業研修』を宮崎北支部・ひむか支部で70班(1班4-5名)を受け持っています。初年度は、宮崎北高校、同友会双方手探りで始まり、企業訪問を1回してもらって成果発表会という流れでしたが、振り返りでこちらが意図したことがつながっていなかったことや十分に思いを伝えきれなかったという声がありました。2023年度からは企業訪問を2回してもらい、1回目の訪問で気づいたことを交流し内容を深めていこうにしました。そして、12月には企業が学校に出向き、成果発表会に参加しています。

この取り組みを通して、生徒さんからは、「調べていくうちにこういう企業もあるんだと知った」「こういう職場で働きたい」「職業の選択の幅が広がった」等の感想が寄せられました。企業からは、「普段関わりのない高校生との交流が楽しかった」「中小企業の役割を伝えることができた」等の感想が寄せられました。

2024年度協力企業一覧

(株)愛Life、(株)A・CON・TE宮崎、アップリフト社労士事務所、(株)Aman-Style、社会保険労務士法人ALX、井戸川建設(株)、うと社会保険労務士事務所、かわさき屋(株)、黒木工業(株)、(有)脈脈社、小原農園、(株)合格不動産、(有)斉田商事、SunPower(株)、(株)島子商店、(株)ティーティエス、DBCトータルサポート(株)、(有)東栄空調、巴設備工業(株)、(有)東広告社、(有)日高設備工業、ビシャット内装、(株)FUJIFACTORY、(株)マコト鉄工、(株)松浦牧場、(株)南九州みかど、宮崎食研(有)、(有)もりなが、(有)山勝モータース、(株)よしみカメラ、LastResort合同会社、リビエール、(株)凌駕



「宮崎第一高校」での取り組み

2022年度から始まった宮崎北高校との連携事業の話を『学校の先生方と企業との懇談会』(共同求人委員会)のなかで知った宮崎第一高校の先生から「ぜひうちでもやってほしい」と要望があり、2023年度から始まりました。国際マルチメディア科の3年生を対象に『課題研究』を宮崎南支部の17の企業が受け持っています。



生徒さんに、社内や工場を見てもらって、「見たことがなかった車の下を見ることができた」「こんな仕事もあるんだ」「実際の仕事内容を見ることができてよかった」等の声も寄せられました。企業からは、「SDGsからは外れたが今の学生が考えていること、思っていることが交流できてよかった」「なんとも思っていなかった作業でも学生には刺激となって目をキラキラしていた」等の感想が寄せられ、お互いに刺激を受けていました。

2024年度協力企業一覧

(株)アーム、(有)アイネット、(有)一政設備、Office163、(株)カーオレンジ、(有)河野俊郎酒店、九州情報機器コンサル(株)、(有)サンエック、(株)心耕農園、(有)日伸洗車機、(株)パームス企画、(株)ビューフィールド、(株)プリコム、(株)ポップミックス、三浦商事(株)

「宮崎海洋高校」での取り組み

宮崎海洋高校では、コロナ禍で開催が見送られていた『出前講座』が2022年度から再開。会員が、これまでの職歴やなぜ起業(事業承継)を行ったのか、その時々でどんな思いがあったのかを、2年生に向けて話をしています。

話を聞いて、『こんな仕事をしたい。こんな社会人になりたい』というテーマでグループ交流を行っています。「どんな大人になりたい?」という問いかけに「お金持ちになりたい」という応えが返ってきました。「お金持ちになったら仕事はやめるの?」と聞かされると「仕事は続けていきたい」と。深掘りしていくと、「お金があっても働いていないと社会との関わりがなくなり、楽しい人生とはいえないと思う」という声が出ました。お金があっても地域社会との関わりを断ちたくないという生徒さんからの声に出前講座を続ける意義を改めて確認ができた交流となりました。



「空から未来を」
「空から技術を」
「空から感動を」

1年間はこの経営理念をもとに「方針・計画」は自分で作成しようと考えていましたが、日々の仕事に忙殺されなかつくることができませんでした。そこで2023年10月からの「経営指針をつくる会(方針・計画編)」に参加。その中で自社のビジョンを実現するためには雇用が必要だと考え、2024年春に2名を採用しました。

同友会は経営判断に迷う時、自身にゴーサインを出すかどうか考える場となっているそうです。

大工さんは、きりしま支部の伊鹿倉さん(株)アモール(社長)の紹介で2020年に同友会に入会。2022年5月に、経営指針委員会の「経営指針をつくる会(理念編)」に参加し、成文化したのが、前掲した経営理念です。それまで業務委託のスタッフと事業を行っていましたが、スタッフが辞めてしまうことがあり悔しいと思う場面もありました。しかし、同友会の学びを経て、スタッフが離れたと思う会社をつくったのは自分だと感じるようになりました。

(株)スカイウォーカー
代表取締役 大工 龍也さん

〔きりしま支部〕



株式会社スカイウォーカーは、ドローンを使った農業散布、苗木などの資材運搬、外壁などの点検を行っています。農業・林業が盛んな宮崎で2019年に設立。現在は社員3名と外部委託により事業を行っています。今年からドローンの国家資格を取得できるドローンスクールを開校しました。

小規模農家にこそスマート農業を

大工さんが最初に始めた事業は、田んぼの農業散布です。創業当時、スマート農業(ロボット、AIなど先端技術を活用する農業が普及し始め、ドローンはスマート農業の代名詞として注目されていましたが、業界を見渡すと、ドローンを販売する事業者ばかり。高齢の農家や小規模農家こそスマート農業の恩恵を受けるべきだと考え、大工さんはドローンを販売するのではなく、農業散布を請け負う会社が必要だと考えてサビスをスタートしました。

起業初年度はコロナにより、農家への訪問営業ができず、売上目標を下回りましたが、現在は各地域の農家と営業契約を結び、効率的に営業活動を行っています。

さらに、農業散布だけでなく苗木や鹿ネットなどの資材運搬も請け負い、林業の分野にも進出しています。ドローンによる資材運搬を請け負うことのできる会社は南九州ではスカイウォーカーだけです。

また、一級建築士であるという強みを生かし、ドローンを活用した外壁点検なども行っています。

新事業の展開

2024年6月に、国家資格を取得できるドローンスクールを開校しました。ドローンスクールは全国に多くありますが、実際にドローンで農業散布や資材運搬などを行っている実務のプロフェッショナルの会社がスクールを開講するのは珍しく、生きた知識を学べる点が強みです。受講には、最大75%の助成金を活用することができます。大工さんは、このスクール事業を今後大きな柱にしようと考えています。

今後はドローン専門事業者としてのビジネスモデルを確立し、南九州管内で多店舗展開も視野に入れています。

(株)スカイウォーカー
住所/ 都城市平塚町2980-2
TEL / 0986-51-8823
FAX / 0986-51-8824
HP / <https://sky-walker.co.jp>



みんなが楽しく学び遊べるドローンテーマパークをつくるのが夢であるなど「野望しかありません」と語る大工さんに熱意を感じました。

取材
(有)別府損害保険事務所 別府昭人
合同会社 花菜 村山美佳

宮崎同友会・会員550名を達成しよう

宮崎同友会では、2024年度末会員550名を目標に現在同友会運動を推進しています。まずは、9月19-20日に開催される第52回青年経営者全国交流会in宮崎に向けて8月中に会員500名を目標にしています。しかし、7月19日現在の会員数は464名…。役員を中心に仲間づくりを進めていますが、皆さんのお力が必要です。

自社をよくしようと入会したのになんで会員を増やしていかないといけないのかという思いをもっている会員のみなさんもいるかと思います。会員を増やすとどうなるのかを皆さんと共有して、宮崎同友会の次のステージに皆さんと一緒にいきたいと理事会では、考えています。

なぜ会員を増やすのか?

取引先と共に育つ

得意先、仕入先など様々な取引先が入会し、同友会で学び、経営指針の確立などを通して、企業の体質を強化することは、自社の経営の安定につながるとともに、これまで以上に切磋琢磨しあつて高い質の仕事に挑戦していくことができます。お互いの企業レベルを低下させるような安易に妥協する関係ではなく、良い仕事を要求し合える関係ができ、企業としても鍛えられていきます。

新しい仕事を創りだす

中小企業の市場を創造していく、新しい仕事を創り出していくには各企業の経営努力が重要であることはいうまでもありません。同友会で学んでいる様々な業種の会員企業が市場創造のために企業革新を行い、連携やネットワークを強化することで、新しい仕事づくりの可能性は広がります。仕事を創り出す企業の輪を広げましょう。

会員増強は学びの場

会員増強で相手先の企業の経営課題や悩み、業界や地域の動向、経営や会社の方向性などを聞き、その解決の方向を共に考えることは、自分自身と自社にとって貴重な学びの機会です。会員増強のための企業訪問を“ミニ例会”と考え、訪問先では“討論”しましょう。経営の学びの一つとして、会員増強を位置づけましょう。

生きた情報が増える

インターネットなどで情報を得ることも大切ですが、同友会では会員同士のコミュニケーションにより、生きた情報を入手することができます。会員が増えることは情報の宝庫としての同友会がさらに豊かになり、自社にとっての貴重な情報が増えるということです。

(同協・会員増強の手引きより)

同友会にお誘いする方は、地域内すべての中小企業家です。経営課題をかかえていない企業、悩みのない経営者はいません。こちら側から対象をせばめることは、双方にとって学ぶ機会を失うことになります。また企業づくりや地域づくりを熱心に取り組んでいる経営者が多くいます。同友会の理念や活動を熱心に伝え、お誘いすることも大変重要です。企業や地域をともに変えていく仲間となります。

会員を増やすには、会員が自分と親しい人、知っている人に日常的に同友会の魅力について話をすることが一番確実な増強方法です。同友会に入って良かったこと、自分の経営が変わったこと、経営者としての自己変革の姿を、情熱を込めて語ることです。

会員増強は、一人ひとりの会員にとって「同友会で得た感動やメリットを、それをまだ知らずにいる知人に贈る心のこもった最高のプレゼント」であり、「自分自身の成長の証」でもあります。

今、あなたが同友会の会員でいられることは、同友会に誘ってくれた推薦者(紹介者)がいるからなのです。今度はあなたが紹介者になる番です。

恋人探して受け身でしますか???

本気でゲットしようと行動をしますよね!仲間づくりって同じ要素だと私は考えます。では仲間づくりをすると、どんなことが起こるでしょうか。それは私たち経営者が求めていることの実現です。経営者は関わるすべての人を幸せにしたいという理想としています。その理想は同友会運動が広がる、仲間がめっちゃ増えることによって、可能性が高まります。経営者として経営に必要なことを貪欲に学び、学びにとどまることなく愚直に実践し、実践を同じ志の仲間と交流することが大切です。

増強に向けてのメッセージ

「学び・実践・交流」

この基本要素の質を高めるのは、なんといっても様々な経営者が増えることです。仲間と一緒に、我々が愛する宮崎を日本をより豊かに!! を実現しましょう!



今回のご紹介は6月26日~7月18日に入会された5名の新会員さん(支部別・50音順)です。

東北支部	58名
ひむか支部	33名
宮崎北支部	137名
宮崎南支部	80名
きりしま支部	158名
合計	466名

※2024年7月30日現在

スナック日和

代表 海老原 美咲さん(27歳)

ニシタチでスナックを経営しています。私の趣味がゴルフなので、ゴルフを通じて仲良くなったお客様がよくご来店されます。カウンター8席、ボックス1つの小さいスナックですがスタッフも明るく毎日楽しく営業しています。



宮崎市中央通7-30 川崎ビル2-A
TEL / 080-1780-9080
業種 / 飲食業

(株)ハラケアシステム

取締役副社長 赤池 智和さん(46歳)

我が社は、介護サービスを提供する事業をメインとする会社ですが、「人・地域・笑顔」を大切に、皆が幸せになれるよう支援する会社でもあります。様々な職種の社員に支えられ、財務・総務・管理担当の副社長として、事業の発展に尽くして参ります。



北諸県郡三股町大字夢池3637-1
TEL / 0986-58-7600 FAX / 0986-58-7601
業種 / 老人ホーム、介護サービス業

社会福祉法人慈恵会

やすひさ幼稚園

副園長 今村 小百合さん(50歳)

当園では、認定こども園として、未来ある子ども達をただ預かるだけでなく、「どの子も育つ」をモットーに、小学校までの大切な準備期間として子ども達の様々な能力をのばすことができる集団保育のあり方を求めて日々学び実践しています。



都城市安久町1674-1
TEL / 0986-39-0218 FAX / 0986-39-0909
業種 / 社会福祉施設運営(こども園)

WEEK

小嶋 八千代さん(41歳)

5月にオープンしたばかりのスナックです。スタッフが働きやすい職場にし、お客様が楽しく居心地のよいお店をめざしています。



都城市牟田町19-9 M&K 2F
TEL / 090-1975-6788
業種 / 飲食業(スナック)

(株)ハラケアシステム

副社長 松村 秀樹さん(60歳)

我が社は、利用者様、ご家族様、地域の皆様、そして社員の幸せの実現を旨として邁進する「幸せ創造企業」です。私は、社長のその思いに共感して小学校の校長を定年退職後、4月から入社しました。社長と共に同友会で学ばせてください。お願いいたします。



北諸県郡三股町大字夢池3637-1
TEL / 0986-58-7600 FAX / 0986-58-7601
業種 / 老人ホーム、介護サービス業